

市議会一般質問答弁事項進捗状況調書

議会年月 令和 2 年 6 月	議員名	山下 千尋		
	担当部	民生部	担当課	健康づくり課
標題	本市の目指す医療提供体制について			
質問事項	オンライン診療を導入する医療機関への補助制度を創設してはどうか			
<p>【質問要旨】</p> <p>医療機関がオンライン診療を導入しようと考えたとき、一つのハードルとなるのが、オンライン診療システム導入の初期投資費用であり、この初期投資にかかる費用に対して補助を行うことで、オンライン診療を導入する医療機関を増やし、本市における医療提供体制の充実を図ってはどうか。</p>				
<p>【答弁要旨】</p> <p>現段階ではオンライン診療についての課題は多く、国は「オンライン診療の適切な実施に関する指針」の中で、「オンライン診療の安全で適切な普及を推進していくためにも、情報通信機器を用いた診療に係るこれまでの考え方を整理し、適切なルール整備を行うことが求められている」と明記されている。また、岐阜県においても、昨年度より県医師会と連携し、オンライン診療の有効性や課題の把握、オンライン診療に関する正しい知識の普及などに取り組まれている。</p> <p>市としては、県の動向に注視するとともに情報収集に努め、地域医療を担っていただいている土岐医師会と協議をした上で、市の役割について研究していく。</p>				
対応状況・進捗状況	対応済（令和 2 年度）	検討、対応中	実施不可	
<p>オンライン診療の導入に係る補助事業は、県が令和 2 年度に「岐阜県オンライン診療設備整備費補助金」を創設しています（医療提供体制の構築のため、へき地や中山間地域で往診や訪問診療を行う医療機関の負担軽減及び新型コロナウイルス感染症対策として、医療機関におけるオンライン診療に必要な情報通信機器の整備に要する費用に対して交付されるもの）。県は、令和 2 年度は医療機関に対し、令和 3 年度は訪問看護ステーション等事業所に対する補助事業を行っています。また、令和 4 年度は令和 2 年度と同様、医療機関に対する補助事業を予定しているようです。</p> <p>オンライン診療を含む医療のあり方・環境は日々変化しています。令和 4 年 4 月から薬剤に関する改正（リフィル処方箋の導入）もありますので、市として国や県の動きを注視し、その情報の把握に努めるとともに、土岐医師会とも情報共有に努めています。</p>				